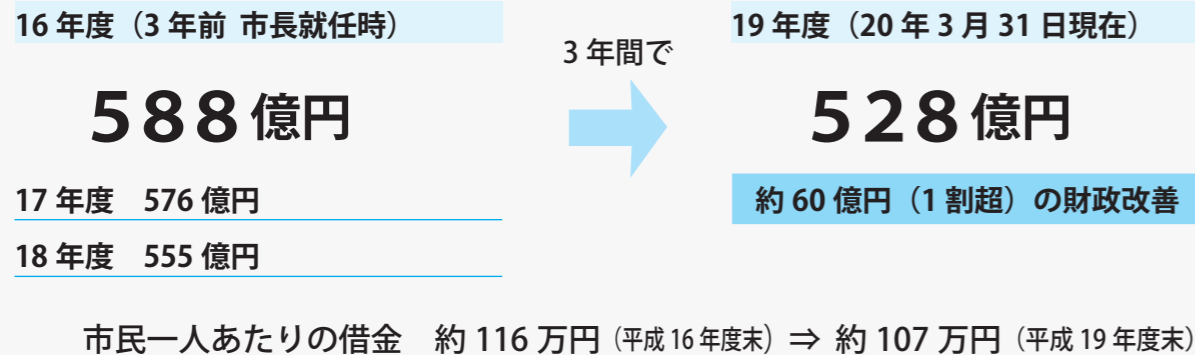




# 平成19年度 加西市の決算状況

平成19年4月1日から平成20年3月31日までの市の収入と支出の実績を報告します。一般会計、特別会計、企業会計各決算は、市議会9月定例会に提案されており、決算特別委員会での審議を経て、12月定例会で決算認定の採決が行われる予定です。

## 加西市の借金（一般会計、特別会計、企業会計の連結借金）



## ① 一般会計

歳入総額	185億9,385万円
歳出総額	184億9,330万円
差引	1億55万円
翌年へ繰越	4,001万円
実質収支	6,054万円
単年度収支	△172万円

歳入のうち、最も多いのは市民の皆さんに納めていただいた市民税・固定資産税などの市税収入で、67億円です。

景気の低迷により法人市民税が減少しましたが、一方で国からの税源移譲により個人市民税が増加、また償却資産の増加により固定資産税も増加し、前年（62億円）に比べて約5億円（7.8%）の増加となっています。

地方譲与税・地方交付税・地方特例交付金等が減少したものの、繰入金・諸収入・県支出金・国庫支出金等の増加により、合計で10億3千万円の増加となっています。

ただし、歳入のうち、繰入金は基金の取崩しによるものであり、財政調整基金と減積基金を合わせて8億5千万円取崩しています。

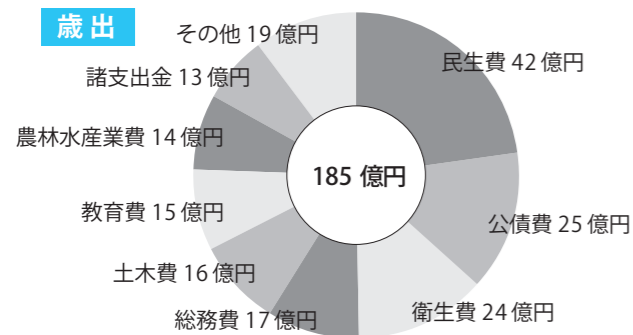
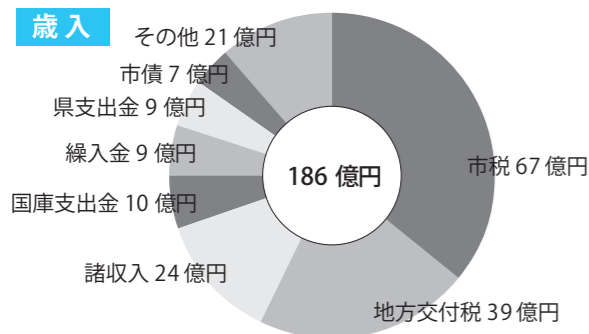
歳出では、人件費・投資及び出資金・維持補修費が減少したものの、補助費等・扶助費・普通建設事業費・物件費等が増加し、合計で10億3千万円の増加となっています。

また歳入歳出差引額は、1億円で32年連続の黒字となりましたが、19年度実質収支から18年度実質収支を差し引いた単年度収支は2百万円の赤字となっています。

### 市民一人あたりに使われた金額

民生費	8万5,492円
（高齢者・障害者・子どもの福祉等）	
公債費	5万1,364円
（借金の返済や利子の支払等）	
衛生費	4万9,416円
（健康の保持、ごみ処理等）	
総務費	3万4,184円
（戸籍、徴税、防犯等）	
土木費	3万1,935円
（道路、市営住宅の維持管理等）	
教育費	2万9,444円
（学校施設、スポーツ振興等）	
農林水産業費	2万8,159円
（農業振興、山林の管理等）	
諸支出金	2万5,495円
（公社貸付金、基金への積立等）	
その他	3万7,742円

合計 37万3,231円



## ② 特別会計

会計名	歳入	歳出	
【有線放送電話特別会計】	5,153万円	2,050万円	3,100万円の黒字
【国民健康保険特別会計】	49億3,734万円	46億9,292万円	2億4,400万円の黒字
【介護保険特別会計】	31億7,707万円	31億5,512万円	2,200万円の黒字
【老人保健医療特別会計】	49億2,401万円	49億6,732万円	4,300万円の赤字
【公園墓地整備事業特別会計】	3,271万円	219万円	3,100万円の黒字

## ③ 企業会計

### 水道事業会計

経営成績を示す収益的収支は、下水道事業関連の費用が減少し、2億円の純利益を計上。また、将来の経営活動に備えて行う建設改良等に係る資本的収支は2億円の不足となり、内部留保資金（現金支出を伴わない減価償却費等）などで補てんしました。今後、水道事業では下水道工事に伴わない老朽管更新や耐震化のために多額の費用が必要となることが予想されます。

収益的収入	13億5,443万円
支出	11億5,813万円
資本的収入	2億9,118万円
支出	4億8,833万円
資産	118億1,922万円
負債	1億6,693万円
資本	116億5,229万円
うち借入資本金（企業債）	17億8千万円

### 下水道事業会計

収益的収支は、事業収益のうち使用料収入が増加したものの、費用では企業債利息などが大きな負担となり、2億1千万円の純損失が生じています。また、資本的収支についても、6億7千万円の不足となっています。平成20年度の完了に向けて下水道事業を推進中ですが、同時に経営健全化も図らなければならないが、平成20年4月には使用料の30%値上げを実施しました。

収益的収入	18億7,531万円
支出	20億8,783万円
資本的収入	17億5,471万円
支出	24億2,090万円
資産	537億2,325万円
負債	14億9,357万円
資本	522億2,968万円
うち借入資本金（企業債）	292億3千万円

### 病院事業会計

収益的収支は、収入では、診療単価は増額となったものの、常勤医師の減少等により入院・外来患者数が減少、収益全体で減収となりました。一方、支出では、医業外費用が減少したものの、医業費用が増加し、本年度は3億8千万円の純損失となりました。資本的収入については、1億2千万円の収入不足が生じましたが、内部留保資金等で補てんしました。

収益的収入	55億3,483万円
支出	59億1,047万円
資本的収入	7億2,480万円
支出	8億4,091万円
資産	53億6,052万円
負債	8億934万円
資本	45億5,118万円
うち借入資本金（企業債）	37億4千万円

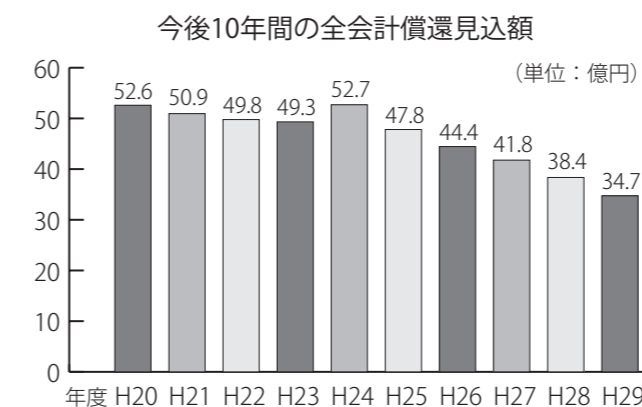
### 農業共済事業会計

農業共済事業は、農業災害補償法に基づき、農作物、家畜、畑作物、園芸施設の自然災害等による損失を補てんするもので、各共済勘定で、純利益を計上しています。

収益的収入	1億2,136万円
支出	1億1,213万円
資産	1億9,083万円
負債	1億1,033万円
資本	8,050万円

※公営企業の企業債残高については、地方公営企業法に基づき借入資本金として資本に計上しています。

## ■ 10年後には借金を半分に



市長就任時に、市の借金は588億円ありましたが、3年間で約一割削減し、19年度決算は528億円になりました。それでも市民一人あたりの借金は107万円で、平成24年に市債償還のピークが迫っています。

これに対して、私は、安易な増税ではなく、行政の効率化と経営努力で借金を返済し、おおむね10年後には半分にしたと考えています。それによって将来を見据えた前向きで積極的な事業投資ができると思っています。（市長）

